



発刊：バリアフリー推進ネットワーク事務局（交通エコモ財団）

目次

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

交通バリアフリー推進の集い交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

第2回ユニバーサルデザイン全国大会

東洋大学工学部ユニバーサルデザイン教育手法に関する連続公開研究会

荒川区基本構想点訳版（あふネット）

私達にもできる移動・移送サービス入門セミナー in 北陸 2002年度第2回

移送のネットワーク作りに向けた移送フォーラム

移送サービスと介助を一体となって取り組むための担い手養成講座

第3回移送サービス運転協力者実技研修会開催のお知らせ

(3) エコモからのお知らせ

平成14年度交通バリアフリー活動に対する助成について

交通機関の情報提供についてご意見をお寄せください

らくらくおでかけネットアドレス変更のお知らせ

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

公共交通機関旅客施設の移動円滑化ガイドライン追補版が発刊

(4) 行政からのお知らせ

交通バリアフリー法基本構想策定状況

(5) 各種催し物のお知らせ

「AIKI（アイキ）」

(6) その他

書籍に関して

記事募集中

お願い（必ずお読みください。）

・転送先について

・送付先について

コラム

(1) バリアフリー推進ネットワークからのお知らせ

交通バリアフリー推進の集い、交通バリアフリー推進セミナー報告書配布について

昨年11月15日に実施しました交通バリアフリー推進の集いを実施いたしました。当日配付資料をご希望の方は、ご連絡ください。また、平成13年度1年間で、全国10カ所で開催しました交通バリアフリー推進セミナーの報告書を作成しました。また、当日配付資料もございますので、ご希望の方は、ご連絡ください。

(2) ネットワーク参加団体からのお知らせ

第2回ユニバーサルデザイン全国大会

埼玉県では第2回ユニバーサルデザイン全国大会を来年1月23日(木)、24日(金)さいたま市にある「彩の国さいたま芸術劇場」で開催します。

開催概要、申込み方法につきましてはお手数ですが、次のアドレスを御覧ください。

<http://www.pref.saitama.jp/A02/BP00/universal/universaltop.html>

お問い合わせは、埼玉県総合政策部文化振興課ユニバーサルデザイン担当 山島則義

〒336-8501 埼玉県さいたま市高砂3-15-1

TEL048-830-2879 FAX048-830-4752 E-mail a0141051@pref.saitama.jp お願いします。

東洋大学工学部ユニバーサルデザイン教育手法に関する連続公開研究会

この度、東洋大学工学部では公募研究の一つとして「ユニバーサルデザイン教育手法の開発研究」プロジェクトを立ち上げました。このプロジェクトは、工学教育のあり方を見直すために、多様な展開を示すユニバーサルデザインの考え方を導入することにあります。現在わが国では企業、行政、設計者らがそれぞれの立場でユニバーサルデザインを推進し、専門家の養成を進めています。私どももそれらの経験に学びながら、新たな工学教育の枠組み・技術者養成の方向を検討しています。学内外からユニバーサルデザインの第一線で活躍する研究者、行政、企業関係者を招き、広範な議論を展開します。是非この討議にご参加頂き、それぞれのお立場でお仕事にお役に立ていただければ幸いです。

対 象：企業、建築・土木設計者、プロダクトデザイナー、行政、研究者、学生等ユニバーサルデザインに関心のある方

開催日程：2002年11月～2003年3月まで連続4回

開催場所：第3回 東洋大学工学部4号館第1会議室(東武東上線鶴ヶ島駅下車12分)

第4回 川越市クラッセ川越(東武東上線、JR川越線川越駅下車3分)

参加費：無料(参加希望者は、氏名、所属、e-mail、連絡先、手話通訳の必要性等を事前登録してください)定員100名

申込先：〒350-8585 川越市鯨井2100 東洋大学工学部建築学科 高橋 儀平 宛

e-mail : toyo@m78.com または FAX049-231-1400

スケジュール

第3回 2003年1/17(金) 14:00～17:00

会場：東洋大学工学部キャンパス(川越市鯨井2100 東武東上線鶴ヶ島駅徒歩12分)

テーマ「生活支援と環境デザインの開発手法」

討論者 中川聡((株)トライポットデザイン代表)、

高橋玲子((株)トミー社会環境部・共用品推進室)

市川 薫(千葉大学工学部情報画像工学科教授)

コーディネーター：清澤文彌太(東洋大学)

第4回 2003年3/3(月) 14:00～17:00

会場：「クラッセ川越」(東上線川越駅徒歩3分)

テーマ「企業、行政と教育・研究機関の連携手法」

討論者 山島則義(埼玉県総合政策部文化振興課ユニバーサルデザイン担当副参事)

関根千佳(株)ユーディット、情報のユニバーサルデザイン研究所代表取締役)

田中直人(摂南大学工学部建築学科教授)

1回～3回の討論者の方(未定)

コーディネーター：高橋儀平(東洋大学)

荒川区基本構想点訳版、音訳版（あふネット）

全国で取り組みが進んでいる交通バリアフリー法に基づく基本構想策定において、東京都荒川区の基本構想が平成14年3月25日に受理されました。その基本構想独自の概要版の点訳版(2冊組)、音訳版を、調査・策定作業に携わったあふネットが作成いたしました。現在、交通エコモ財団にご寄付頂きました資料を貸出ししております。ご興味のある方は、交通エコモ財団バリアフリー推進部までお問い合わせください。
FAX : 03-3221-6674 E-mail : ecomomail@ecomomail.or.jp

私達にもできる移動・移送サービス入門セミナー in 北陸 2002年度第2回

北陸移動サービスネットワークでは、2002年度第2回の研修会を開催いたします。移送・移動サービスは2003年、国土交通省のガイドライン策定で大きな転機を迎えようとしております。移送サービスがガイドラインの成立で、どう変わるのでしょうか。今まで以上に活動がしやすくなるのでしょうか。それとも活動できなくなるのでしょうか。

今回の研修会では国土交通省のヒアリング等で移送・移動サービスの窓口的立場の阿部さんやヒアリングに参加している方たちをお招きして、お話をお聞きしたいと思います。

ぜひご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時 2003年1月19日(日) 10:30~15:30

会場 石川県地場産業振興センター 本館2階第2研修室 石川県金沢市戸水町イ80

内容 第1部 基調講演「移動・移送サービスの今後の課題について」

阿部司氏(東京ハンディキャブ連絡会代表)

第2部 シンポジウム「ガイドラインで課題になっていることは」

~「認定システム」「利用料」「法人化」そして安全、安心の担保とは~

問題提起者 岡秀明氏((株)ユニネット代表取締役)

藤原孝公氏(東京ボランティア・市民活動センター)

須戸哲氏(ハートフルキャブ運行委員会)

助言者 伊藤正章氏(東京ハンディキャブ連絡会事務局長)

参加費 500円

申込み・問合せ先 北陸移動サービスネットワーク事務局

〒921-8021 石川県金沢市御影町8-32 (特定)自立生活センターハートいしかわ内

TEL&FAX 076-242-1172

移送のネットワーク作りに向けた移送フォーラム

長野障害者自立支援センター「マイ・ステップ」では、障害者・高齢者の移送問題について継続して検討してまいりましたが、その中で、今後、県内の移送サービスのネットワーク化を図り、相互の情報交換を行いながら問題解決に取り組んで行くという方向性が確認されました。これを受け、下記のように「移送フォーラム」を開催致しますので、ぜひご参加ください。お待ちしております。

日時 2003年1月26日(日) 13:00~16:30

会場 長野市ふれあい福祉センター4F 第2・3会議室 長野県長野市大字鶴賀1714-5

内容 第1部 講演「県内ネットワークを進めるために」

笹沼和利氏(埼玉県移送サービスネットワーク代表)

第2部 移送サービス講座

「市民活動としての移送サービスをどう作っていくか 第1回」

パネラー 長野県内の移送サービス実施団体関係者、

市民団体・社会福祉協議会・タクシー会社他

申込み・問合せ先 長野障害者自立支援センター「マイ・ステップ」

〒380-0904 長野市大字鶴賀276-10 長野市障害者福祉センター内

TEL026-28-0666 FAX026-268-0611 E-mail mystep@avis.ne.jp

移送サービスと介助を一体となって取り組むための担い手養成講座

昨今、交通バリアフリー法が施行され、当地域においても駅のエレベーター設置や市内循環コミュニティバス運行等、少しずつではありますが、バリアフリー化も進んできています。しかし、移動困難者にとってはまだまだ積極的な外出には不安があり、移送サービスは必要不可欠であると思います。更に移送サ

ービス時に乗降等以外の介助の要望が多々あり、介助・移動サービスを提供するものとして利用者への理解とサービス提供における知識・技能の向上を目指すと共に安全且つ円滑なサービス提供を行うための一助となるような研修会を実施したいと思います。皆様の参加をお待ちしております。

日 時 2003年2月8日(土)、9日(日) 10:00~16:00

会 場 東大和中央公民館 東京都東大和市中央3-926

内 容 8日:自立生活運動を学ぶ、利用者への理解と関わり方、運行中の安全対策、移送中の利用者心理

9日:実際の対応の仕方及び体験(介助編)・(移送編)

参加費 無料

申込み・問合せ先 特定非営利活動法人 自立生活センター・東大和

〒207-0014 東京都東大和市南街1-8-12 ドエル東大和1F

TEL042-567-2622 FAX042-567-2912

第3回移送サービス運転協力者実技研修会開催のお知らせ

運転協力者を対象とした実技研修会を実施いたします。国土交通省によるガイドライン策定にあたっても安全性の担保は重要な位置をしめています。この研修会は、実際に移送サービスに携わる方によるノウハウを集め、市民活動による移送サービスの安全性向上に役立つものとして、開催するものです。今回からは2日間の開催として、座学と実技を分け、より充実した内容にしていきたいと思っております。皆様の参加をお待ちしております。

日 時 2003年2月15日(土)、16日(日)

会 場 15日 セントラルプラザ会議室 16日 警視庁府中運転免許試験場コース

主 催 東京ボランティア・市民活動センター、東京ハンディキャブ連絡会

共 催 警視庁 交通部(予定)

定 員 20名 応募者多数の場合は調整。

対 象 移送サービス実施団体で運転協力者として活動している方で、活動年数が概ね3年以内の方。両日とも出席できること。お申込みは団体経由でお願いします。

参加費 3,000円(予定)

東京ハンディキャブ連絡会団体会員の方は割引を設定する予定です。

申込み・問合せ先 東京ハンディキャブ連絡会

〒192-0907 東京都八王子市長沼町916-2 シャトラーたしる第2102号

TEL&FAX0426-36-6807 E-mail office@tokyo-handicab.net

(3) エコモからのお知らせ

平成14年度交通バリアフリー活動に対する助成について

当財団は、これからの高齢社会の到来に備え、また障害者の社会参加を促進するため、高齢者や障害のある方々の移動円滑化を促進するボランティア団体等の行う交通バリアフリー活動に対して、その活動資金の一部について助成していくことにいたしました。詳細や応募方法については、当財団のホームページ(<http://www.ecomo.or.jp/>)をご覧ください。

交通機関の情報提供についてご意見をお寄せください

視覚障害者や聴覚障害者等の情報制約者に対する鉄道利用に関わる交通情報の提供についての調査を進めております。現在の情報提供の実態把握、及びその課題を明らかにし、円滑に交通機関を利用できることを目標とする情報提供に関する各交通事業者共通のマニュアルの作成を目指しております。

今まで駅をご利用になった際に、お困りになったこと、お気づきになったこと、よかったこと等ございましたら、ご意見や路線名や駅名等をお寄せください。ご意見を頂く際は、ご所属、お名前、連絡先(住所、電話番号、FAX番号、E-mail等)をお書きの上、郵送、メール:ecomomail@ecomomail.jp、FAX:03-3221-6674までお送りください。

らくらくおでかけネットアドレス変更のお知らせ

沢山の方にご利用頂いているらくらくおでかけネット(交通バリアフリー情報提供システム)のアドレスが、10月1日から新しくなりました。

アドレス : (パソコン版) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/index/>
(携帯版 = i-mode, j-sky) <http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile/>
(携帯版 = EZ-web) http://www.ecomo-rakuraku.co.jp/rakuraku/mobile_ez/

公共交通ターミナルのバリアフリー度評価について

「公共交通ターミナルのバリアフリー度評価に関する簡易評価マニュアル」を公開しておりますが、本評価マニュアルは、あくまでも地域のボランティア、市民グループ、学生の皆様などが自主的に評価に取り組まれる時（地域の基本構想作成時などが考えられます）にお役立ていただく方法として、提供させていただいておりますので、ご自由にお使いいただければと思います。なお、弊財団より、評価を行う旨の依頼を皆様に行っているものではありませんので、誤解のないよう、よろしくお願いたします。

公共交通機関旅客施設の移動円滑化ガイドライン追補版が発刊

平成 12 年 11 月 15 日、「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律（交通バリアフリー法）」及び同法に基づく移動円滑化のために必要な旅客施設及び車両等の構造及び設備に関する基準が定められた。この移動円滑化基準が義務基準として遵守すべき内容を示したものであるのに対し、多様な利用者の多彩なニーズに応え、すべての利用者がより円滑に利用できるよう、公共交通機関の旅客施設整備の望ましい内容を示すものとして「公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドライン」が平成 13 年 8 月策定されました。

しかし、本整備ガイドライン作成のための検討の中で、いくつかの課題が残されることとなり、視覚障害者の移動支援方策、視覚障害者誘導用ブロックの個別箇所の敷設方法などが視覚障害者の移動支援設備については、なお議論や検討が必要であるため本整備ガイドラインに盛り込むことができませんでした。

そこでこれらについては、本整備ガイドラインの策定後、検討を進め、このたび視覚障害者に対しニーズ調査、検知・検証実験を踏まえ、音による案内の具体的な検討を行い、個別の音案内ガイドライン、鉄軌道駅プラットホーム縁端警告用内方表示ブロック及びプラットホームの柱や構造物が干渉する場合の敷設について、検討結果がまとまりましたので、「公共交通機関旅客施設の移動円滑化整備ガイドライン追補版（平成 14 年 12 月）」として発行することとなりました。

お申し込みは当財団ホームページに掲載されています申込用紙をプリントアウトして頂き、必要事項をご記入の上 FAX でお申し込みください。FAX03-3221-6674（1冊1,000円税込み、送料別）

http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/guidetuihoban.html

(4) 行政からのお知らせ

交通バリアフリー法基本構想策定状況

基本構想を作成済みの市区町村 49 市区町村

福岡県福岡市、北海道室蘭市、広島県呉市、千葉県千葉市、山梨県石和町、大阪府守口市、鳥取県鳥取市、新潟県亀田町、大阪府交野市、大阪府八尾市、千葉県船橋市、北海道千歳市、大阪府堺市、福岡県大牟田市、東京都荒川区、富山県小村町、福岡県福岡市、兵庫県明石市、香川県丸亀市、石川県金沢市、北海道恵庭市、埼玉県熊谷市、神奈川県相模原市、滋賀県守山市、大阪府河内長野市、広島県広島市、神奈川県秦野市、福岡県北九州市、大阪府豊中市、長崎県佐世保市、京都府長岡京市、長崎県長崎市、長野県諏訪市、岐阜県各務原市、岐阜県可児市、神奈川県藤沢市、千葉県柏市、福岡県古賀市、静岡県静岡市、大阪府東大阪市、富山県魚津市、千葉県袖ヶ浦市、大阪府阪南市、兵庫県宝塚市、兵庫県神戸市、東京都羽村市、東京都北区、新潟県新発田市、愛知県春日井市

詳細に関しては、国土交通省のホームページをご覧ください。

(5) 各種催し物のお知らせ

映画「AIKI (アイキ)」

日活株式会社が、創立 90 周年の記念作品として作成された「AIKI (アイキ)」が、全国ロードショーで公開されています。この映画は、ボクサーとしてデビューした主人公（加藤晴彦）が、交通事故により下半身不随になったところから始まります。様々な人々や合気道との出会いによって、主人公が強く、逞しく、成長していく姿を丁寧に描写しています。監督：天願大介、出演：加藤晴彦、ともさかりえ、日野正平、原千晶、永瀬正敏、石橋凌 他。

(6) その他

書籍に関して

交通エコモ財団では、現在バリアフリー関係の書籍、パンフレットを発行しております。ご興味のある方は、当財団のホームページをご覧ください。

http://www.ecomo.or.jp/barrier_free/bari_f_index.html

記事募集中!

現在、次号メールマガジンに掲載させて頂ける記事を募集中です。セミナーのお知らせや、活動報告、エッセイ等々何でも結構です。どしどしお寄せください。掲載をご希望の方は、メールかFAXでお送りください。

エッセイに関しましては、誠に申し訳ありませんが、掲載するか否かは編集担当に一任頂き、謝礼なし、とさせていただきます。

E-mail : ecomomail@ecomomail.jp FAX : 03-3221-6674

お願い(必ずお読みください。)

・転送先について

このメールマガジンを発刊してから、多くの方からお申し込みを頂いております。ありがとうございます。おそらく、お読み頂いている方から、更にその他のネットワークに転送して頂いていることがあると思います。現在、どの様な所まで、このメールマガジンをお読み頂いているかを把握したいと考えております。転送して頂いている方は、そのネットワーク、もしくは団体のお名前と人数をお教え頂ければと思います。 E-mail : ecomomail@ecomomail.jp FAX : 03-3221-6674

・送付先について

このメールマガジンをなるべく E-mail で送付させて頂きたいと思っております。アドレスをお持ちの方はご連絡ください。 E-mail : ecomomail@ecomomail.jp FAX : 03-3221-6674

コラム

2003年の新しい年が始まりました。過去のことは触れたくないが、2002年はいろいろなことがあり、激動の年でしたね、高円宮さまご逝去、狂牛病の牛肉偽装問題、外務省も“吠える”田中真紀子大臣の更迭、宗男大漁旗の吹き飛び、中国での日本領事館駆け込み問題、特に北朝鮮の拉致問題など外務省を取り巻く問題も多かった。

また、明るい話も盛りだくさんあった。日韓共催のサッカーワールドカップ開催、日朝首脳会談での北朝鮮が「拉致」を認めたこと、ソルトレーク冬季五輪、小柴さん、田中さんのノーベル賞受賞など重大な出来事も沢山あった。暗いときもあれば、明るいときもある。暗い、暗いと思うより、明るい年に備えて頭の柔軟さ、体力の蓄えはしておかなければならない。中国の伝えに「人間万事塞翁が馬」という伝えがあるが、このことを思い出して、元気に生活を楽しみたいものである。

宮沢賢治の「雨にも負けず」は、

雨にも負けず 風にも負けず 欲はなく 決して怒らず いつも静かに笑っている あらゆることを 自分を勘定に入れずに よく見聞きし わかり そして忘れず 野原の松の林の陰の 小さな萱ぶきの小屋にいて 東に病気の子供あれば 行って看病してやり 西に疲れた母あれば行って その稲の束を負い 南に死にそうな人あれば 行って怖がらなくてもいいと言い 北に喧嘩や訴訟あればつまらないから止めると言い 日照りのときは涙を流し 寒さの夏はオロオロ歩き みんなにデクノボーと呼ばれ 褒められもせず 苦にもされず

今年もネットワークの皆さんのお力添えをお願いいたします。

“ユビキタス”

以前にも記したが、ラテン語で「誰でも、いつでも、どこでも情報が得られる。」意味で、どこかの会社では「ユビキタス部」ができたとか、最近、言葉が反乱して、横文字を使えば先端的だと思ふ感もなきにしもないが、自分の置かれた分野で適切な言葉を使うことが必要であり、言葉に踊らされず、実際に必要な人が利用できる環境づくりをめざしたいものである。